

令和4年度 普天間小学校の取り組み

1 研究主題名

コミュニケーション能力を育む指導の工夫

～伝え合おうとする積極的な態度を喚起する活動の実践を通して～

2 研究主題設定の理由

本市では、小学校英語教育課程特例校事業として、「児童生徒の生きる力の育成及び国際化の時代に必要外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むこと」を目的とし、各小学校において英語教育を実施している。本校では、HRTとALTのチームティーチングによる指導を行い、児童も英語の時間を楽しみにしており、意欲的に参加している。

授業では発達段階に応じた語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話のスキル、歌やゲームなどを通じた楽しい英語に加え、学校行事や他教科と関連させたクロスカリキュラム的な方法で外国語への興味関心を高めてきた。しかし、このような活動だけでは与えられた形式をただ声に出しているだけで、思考力をあまり働かせなくてもできてしまう。また、語彙の獲得に個人差が見られることも課題として挙げられてきた。そこで、児童が潜在的に持っている「友達と気持ちを伝え合いたい」という積極的な態度を喚起する授業の工夫を本年度も継続して行うことで学びの質を向上させ、語彙の獲得やコミュニケーション能力の素地の育成につなげていく。さらに、伝え合おうとする積極的な態度を喚起する言語活動の充実を図り、相互交流のあるやりとりを工夫することで、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を育成する。

そこで、本年度は様々な指導法や体験的な活動を通しての言語の習得を行いながら、英語に親しみ身近な日常会話の場の設定ややりとりの工夫を行っていく。本校では、ゴールを見据えたプランニングを作成している。授業計画の段階からHRTとALTが連携して単元ゴールを設定しスモールステップで小単元のゴールを設定しコミュニケーション能力の素地の育成を目指している。また、授業内だけでなく休み時間や給食時間、クラブ活動等においてもALTとの関わりを通して日常的に英会話を楽しむ児童を育てていきたい。本年度もこれまでの成果をベースにして、積極的にコミュニケーションを図り、伝え合おうとする積極的な態度喚起する活動の実践を目指していきたい。

3 研究の主な内容

(1) 目標

【低学年】

◎英語に触れる。

- ・歌・リズム遊び・ゲームなどの活動を通して、英語のリズムやイントネーションを体で感じとり、楽しく英語に触れる。
- ・英語をよく聞き、進んで発話する。

- ・行事やイベントを通して、外国と日本との文化の違いに気づき、外国のことに興味や関心を持つ。

【中学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。

②話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

③話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

【高学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。

②読むこと

- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。

③話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

④話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

⑤書くこと

- ・大・小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

(2) 指導方針・方法

- 毎週木曜日に英語ミーティングの時間を設け、事前に英語の授業の流れを担当とALTで確認し、授業がスムーズに行えるようにする。
- 各学年の英語担当を中心に、ALTと授業の流れや、各学年の発達段階に合わせた、語彙やターゲットセンテンスを確認する。
- 放送委員と連携し、登下校時の校内放送や、運動会などの学校行事に英語を取り入れる。
- 半年ずつALTが担当学年を交換して指導を行うことで、児童が色々な英語に触れることができるようにする。
- 日常的に外国語に慣れ親しむことができるように、学校全体の掲示物の工夫を図る。

4 本年度の取り組み

各学年の取り組み

1年



英語で形や顔の特徴を聞き、そのヒントをもとに動物の絵を描き、聞き取れているか先生に描いた絵を見せて練習している様子。



英語の歌を聞き、踊りながら各体の場所を触り、耳で何度も聞き、声に出して、次第に覚え歌いながら練習している様子。

2年



We wish you a Merry Christmasの歌と手話を交えながら練習している様子。



英語で顔のパーツを学習し、福笑いで、目隠している子に、同じグループの子が右、左、上、下を英語で指示し楽しく活動に取り組む様子。

3年



ハロウィンの由来や関連する英単語を復唱するなどして学習した後、楽しみながら活動している様子。



Do you like～を使って質問したり答えたりする英会話を歌で練習している様子。

4年



タブレットを使い、アルファベットの大文字と小文字を合わせている様子

友だちが選んだ英語表示の看板がどれかを当てるために、英語で質問している様子

5年



自分たちの知っている英単語を活かし、「だるまさんがころんだ」を説明している様子。



外国人との交流会にて、「だるまさんがころんだ」でカード取りゲームを行っている。

6年



授業のスタートのあいさつやルールは児童が主体となって行っている。



単元の最後にはスピーチテストを行い、単元のめあてが達成できたか確認する。

Lesson Plan, Grade 5

July 2022

Topic : Lesson 4-4 This is my dream day.

Goals of this class : Learn about the frequency words and use them in the sentence.

Target vocabulary: time, daily activities, frequency words

過程	学習活動と内容 Activity	教師の支援		備考 Remarks
		Classroom English	HRT	
導入	[Warm up & Greetings] -Greetings, daily questions	*Greetings *Classroom RULES	日直がかけ声とあいさつ	HRT 日直 JTE
めあての確認:頻度を表す言葉を知り、使うことができる。				
展開	[ACTIVITIES] -Review Let's listen to Dan's schedule on Sunday. Learn about the connection words.	<p>OO 曜日は何してますか? A: What do you (usually) do on Sunday? B: I (usually) 活動①、 next 活動②、活動③ in the 朝・昼・晩、 after that 活動④</p>		PP
	-Let's Listen 4 Let's listen to the Fumina's daily activities and write the numbers on the blank.	<p>ふみなさんの習慣について当てはまる番号を口の中に書きましょう。【ひん度の度合い】 Always いつも=週に6~7日 Usually ふだん=週に4~5日 Sometimes ときどき=週に1~3日 Never 全然しない=全くない</p>		Text 51
	-Let's Write Use the tablet to practice writing on Jambord.	<p>タブレットの英語クラス5-1、5-2、5-3 Jambord を使用 ①頻度を表す言葉の意味、それぞれのパーセンテージを考える。 ②頻度を使った文章の書き方を練習する ③提出する</p>		タブレット
	-Activity Let's meet friends and ask some questions using the frequency words. What time do you usually wake up?	<p>●Zoom 交流● Zoom でアメリカにいる友達に、頻度を使った表現でしつもんしよう。 普段は何時に起きますか? 放課後はいつも何をしていますか? などなど</p>		Zoom
まとめ	[Class closing] Wrap up/Review Closing	5min	Alright, that's all for today. Did you enjoy the class? Let's go get stamps/stickers!!	振り返りシート

5 研究の成果と課題

(1) 成果

低学年

- ・ゲームやペアでの簡単なやり取りを通して少しずつ単語やセンテンスを覚え、楽しみながら英語に親しむことができた。【1年】
- ・ゲームやダンスなどのアクティビティを通して、楽しみながら意欲的に英語の学習ができた。【2年】
- ・ジェスチャーを用いながら学習することで、体全体を活用しながら英語の単語の定着が自然とできた。【2年】

中学年

- ・友達へのインタビュー等の活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿が見られた。【3・4年】
- ・活動の説明などの言葉のいみが完全にわからなくても、わかる言葉を聞き取って、ALTの英語を理解しようとする意欲的な態度が見られた。【3・4年】
- ・ほとんどの児童が、4つの質問(名前、気分、天気、曜日)に答えることができた。【4年】
- ・ALTとの打ち合わせでは、単元ごとに活動内容を確認することで、見通しを持って授業に臨むことができた。【3・4年】

高学年

- ・学んだことを実践で活かせる場があったこともあり、交流することで関わりたいという気持ちから積極的に話しかける姿が見られた。【5年】
- ・日本文化を英語で伝える単元では、ゲーム活動を通して、少しの単語だけで伝えることができるということを実感することができ、意欲付けにつながった。【5年】
- ・ICTを活用して資格で英語のスペルを覚えたり、ゲーム形式で楽しく授業を行ったりすることで自然と英語力が身に付いてきている。【6年】

(2) 課題と解決策

課題	解決策
●センテンスの定着に個人差があり、インタビューややり取りの場面で質問したり答えたりすることができない児童がいた。(1年)	☆絵を見せながら音と意味をつなげる活動を何度も繰り返して行うことで少しずつ定着につなげていく。(1年)
●英語に苦手意識を感じている子やセンテンスの定着に個人差があり、活動に積極的ではない児童がいる。(2年)	☆歌やダンス、ジェスチャーを多く取り入れたり、できたよ!シールをもらう場面を多くしたりして、楽しく参加できるきっかけにつなげていく。(2年)
●マスクをしているため、発話していない児童がいても把握することが難しい。(2・3・4年) ●意欲的に発言する児童は増えたが、発言できない児童もいる。(3・4年)	☆全体、グループ、ペア、個人で活動する場面をバランスよく設定して、積極的でない児童も発言・発話できるようにしたい。(3・4年)
●積極性、語彙力に個人差がある。 ●ゲーム活動では、勝ち負けにこだわり、学習内容が雑になってしまう児童がいる。(5年)	☆英語を使ってみたい、思えるような場の設定(5年) ☆何が目的(めあて)かを明確にし、勝敗に意識が向かないような内容を取り入れる(5年)
●授業中の会話や質問は日本語になってしまうことが多い。英語のできるようにしていきたい。(6年)	☆ペアやグループでの発表の場を増やし、自信を持って発表できるようにする。既習事項の復習を設定し家庭学習との連携を図る。(6年)

6 外部評価(学校運営協議会)

成果	課題
○児童のアンケートから、「英語の授業が楽しい」と答えた児童が、どの学年も80%を超えているのは、日頃の先生方や、ALTの授業改善の成果だと思う。今後も、「英語が楽しい」と思う子が増える授業をやってほしい。	●先生の説明が、長いと感じた場面があった。子どもたち同士やALTとの交流を増やしてほしい。 ●マスクで、しっかり発音しているのかわかりにくい場面があった。先生、子どもを含め、透明マスクや身体的距離をとる等の工夫をしてほしい。